

2020年度（2021年3月期） 第1四半期決算説明会

シチズン時計株式会社

2020年8月14日

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。なお、億円未満は切り捨てになっています。

■ 2020年度第1四半期実績 減収減益

新型コロナウイルスの影響等により、主力の時計事業、
工作機械事業が大幅減

■ 2020年度通期業績予想

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響を現時点で
合理的に算定することが困難な状況であることから未定

■ 2020年度配当予想

未定とするが、業績連動だけでなく、配当の安定性を
重視

2020年度 第1四半期連結業績概要

CITIZEN

(単位：億円)	2019年度1Q	2020年度1Q	前年同期比	
	実績	実績	増減率	増減額
売上高	699	368	▲47.3%	▲330
営業利益	18	▲56	-	▲74
営業利益率	2.6%	▲15.3%	-	-
経常利益	20	▲49	-	▲69
親会社株主に帰属する四半期純利益	9	▲67	-	▲76
為替レ－卜	¥111/USD ¥124/EUR	¥108/USD ¥118/EUR	-	-

セグメント別業績推移

CITIZEN

		(単位：億円 / %：営業利益率)		前年同期比	
		2019年度 1Q 実績	2020年度 1Q 実績	増減率	増減額
売上高	■ 時計事業	335	120	▲64.1%	▲ 214
	■ 工作機械事業	157	100	▲36.0%	▲ 56
	■ デバイス事業	145	104	▲28.1%	▲ 40
	■ 電子機器他事業	60	42	▲29.8%	▲ 18
	合計	699	368	▲47.3%	▲ 330
営業利益	■ 時計事業	6 (2.0%)	▲ 38 (▲31.8%)	-	▲ 45
	■ 工作機械事業	26 (16.7%)	3 (3.7%)	▲85.8%	▲ 22
	■ デバイス事業	3 (2.4%)	▲ 7 (▲7.3%)	-	▲ 11
	■ 電子機器他事業	▲ 0 (1.2%)	▲ 3 (▲7.2%)	-	▲ 3
	消去又は全社	▲ 19	▲ 11	-	+7
合計	18 (2.6%)	▲ 56 (▲15.3%)	-	▲ 74	

<完成品販売>

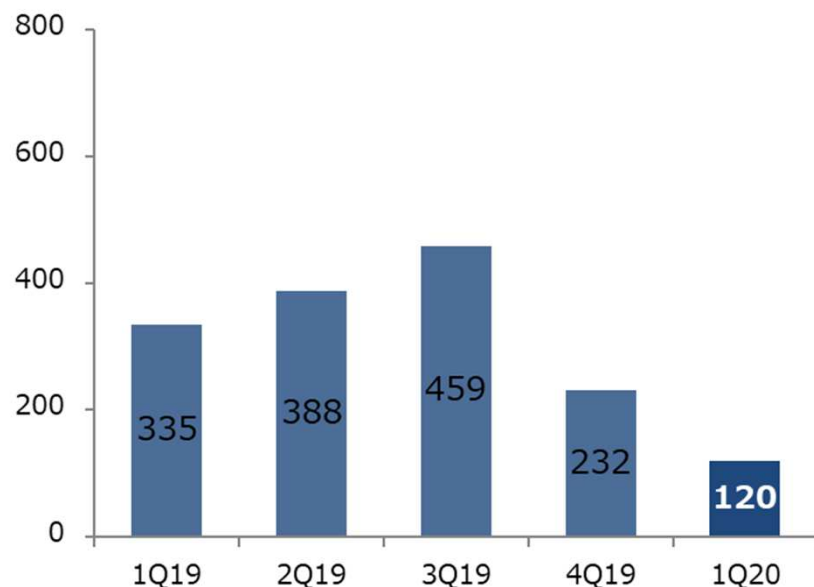
- 海外市場は、北米を中心にロックダウンに伴う店舗休業等の影響を受け、減収
- 国内市場は、インバウンド需要の激減と店舗休業の影響を受け、減収

<ムーブメント販売>

- 新型コロナウイルスの感染拡大により需要がさらに減少し、減収

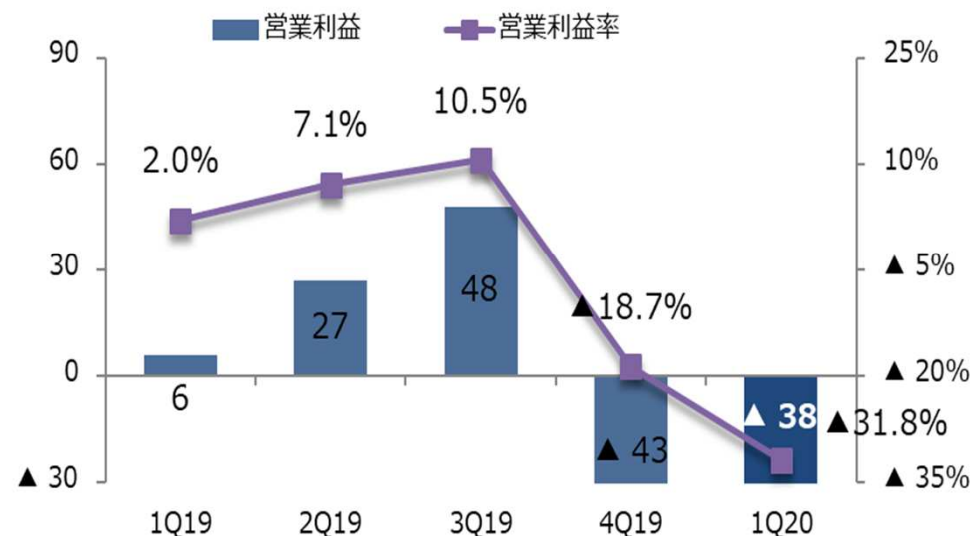
売上高

(億円)

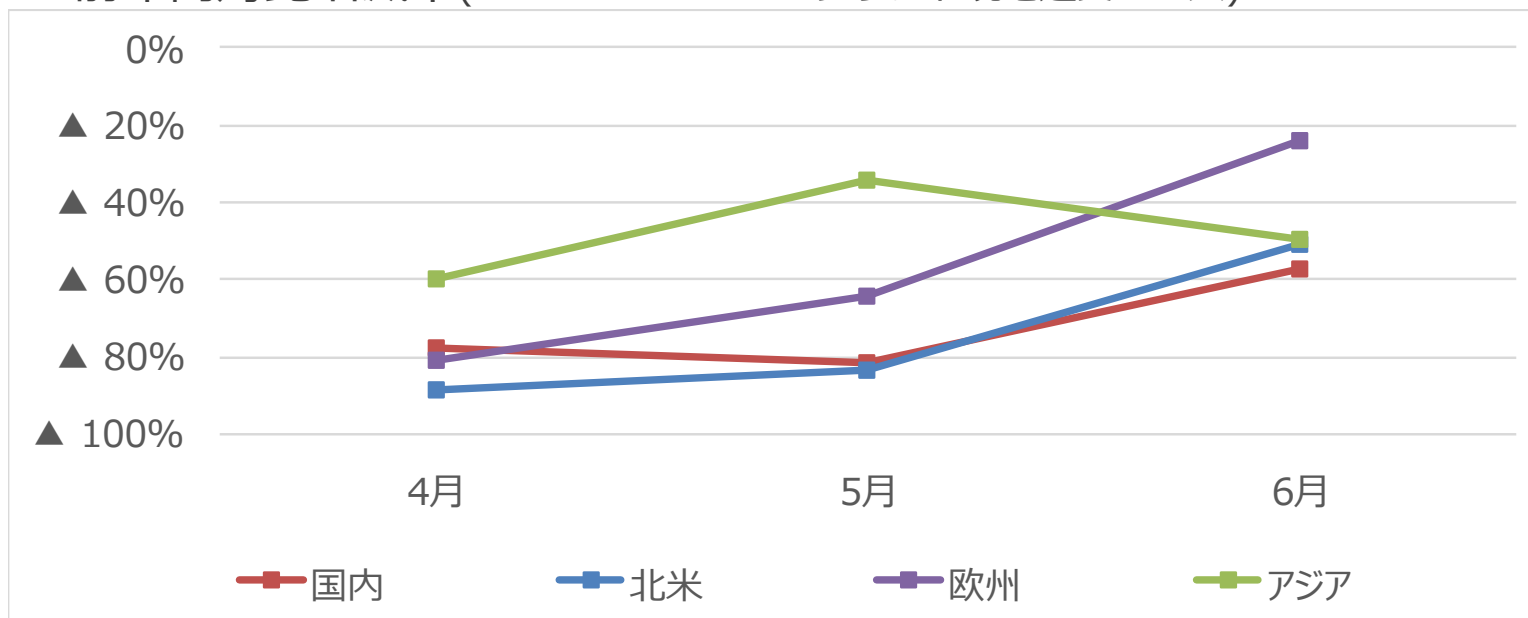


営業利益

(億円)



■ 前年同月比増減率(CITIZEN・BULOVAブランド現地通貨ベース)



■ 前年同期比増減率(CITIZEN・BULOVAブランド現地通貨ベース)

	1Q	備考
国内	▲72%	インバウンド需要の大幅な減少と緊急事態宣言に伴う店舗休業の影響から低調
北米	▲73%	4~5月のロックダウンの影響が大きかったものの、EC販売は比較的堅調
欧州	▲57%	ロックダウン解除後は比較的回復傾向(主にドイツ、イタリア)
アジア	▲48%	5月は中国で6月のECイベント向けのセルインが進んだため上昇

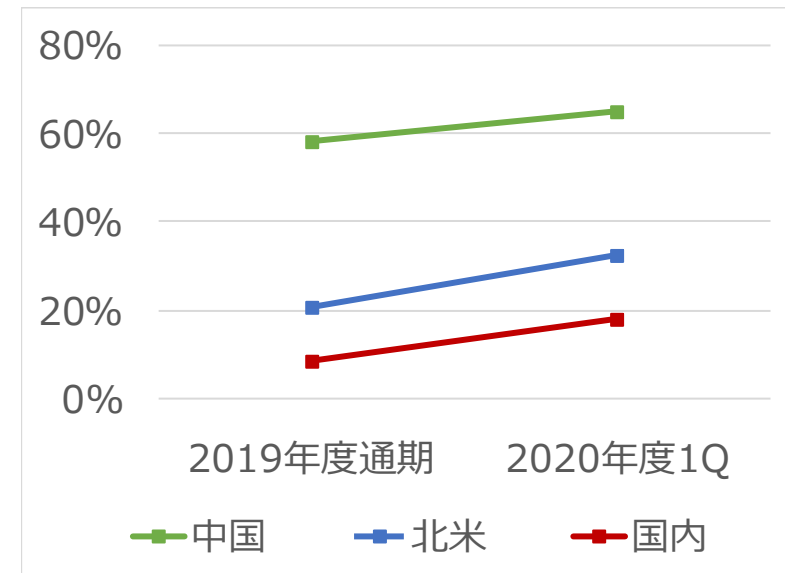
アナログクォーツムーブメントの生産規模を適正化

- 時計製造子会社における希望退職募集
- 機械式ムーブメントの収益改善



EC販売の強化

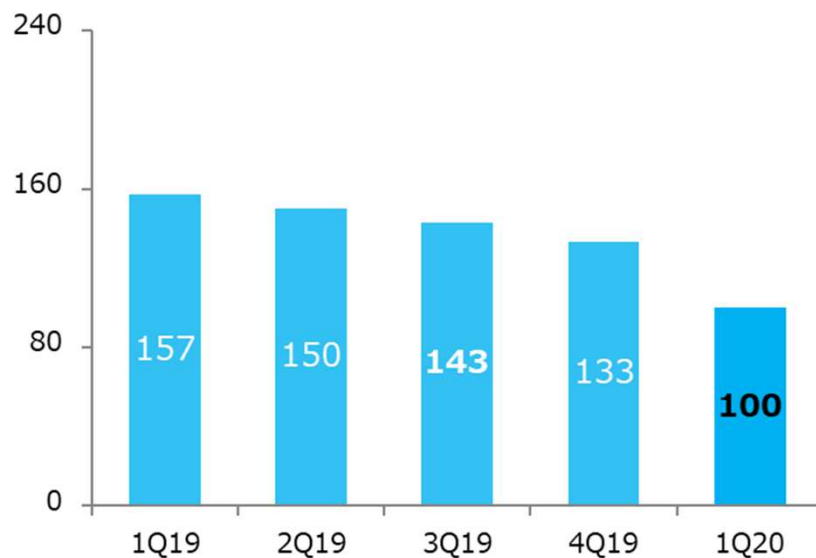
- 中国（EC販売比率：6割強）
EC販売は昨年水準まで回復
- 北米（EC販売比率：3割強）
直販サイト販売が堅調、
新たなオンライン流通の開拓を推進
- 国内（EC販売比率：2割弱）
オムニチャネル化を推進



- 国内市場は、自動車関連などの設備投資需要が低迷し、減収
- 海外市場は、中国が回復基調にあるものの世界的な投資需要の減退を受け、減収

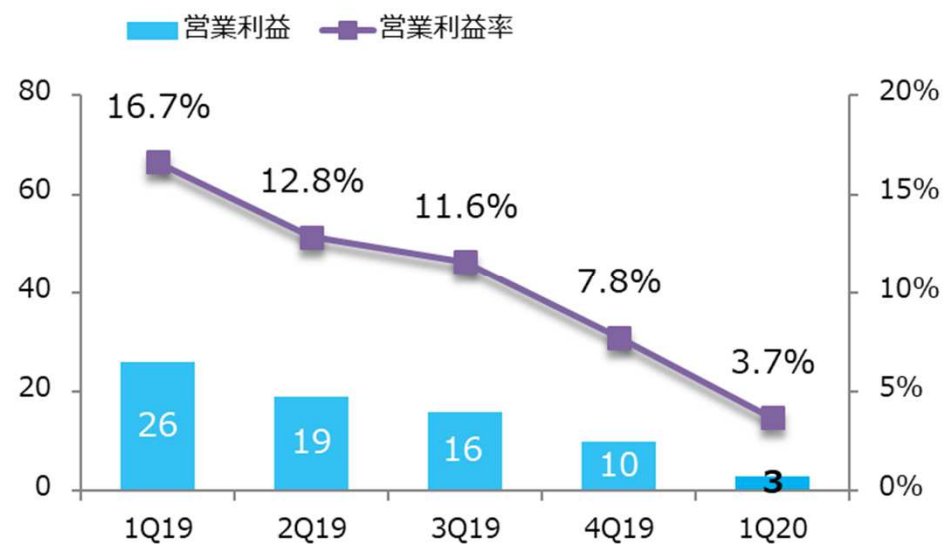
売上高

(億円)



営業利益

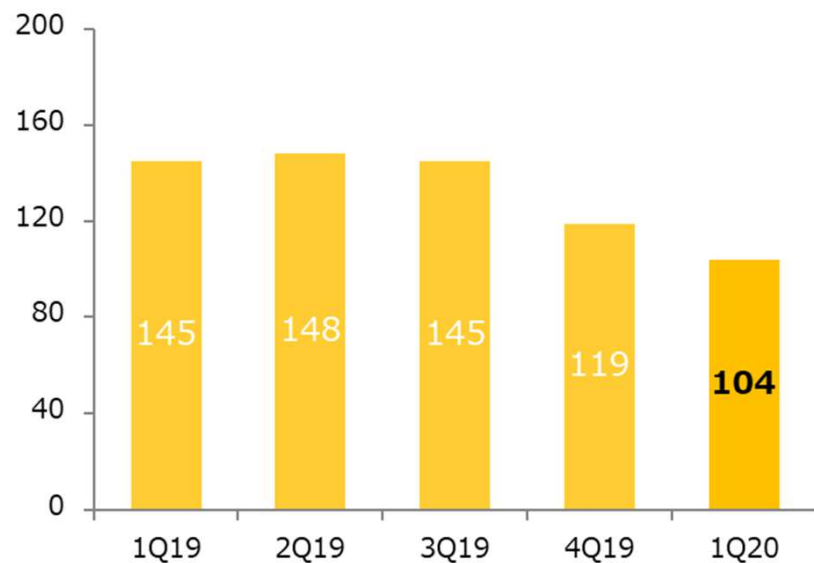
(億円)



- 精密加工部品：新車販売台数の減少から自動車部品が低迷し、減収
- オプトデバイス：車載向けLEDを中心とした一般LEDの不振等により、減収

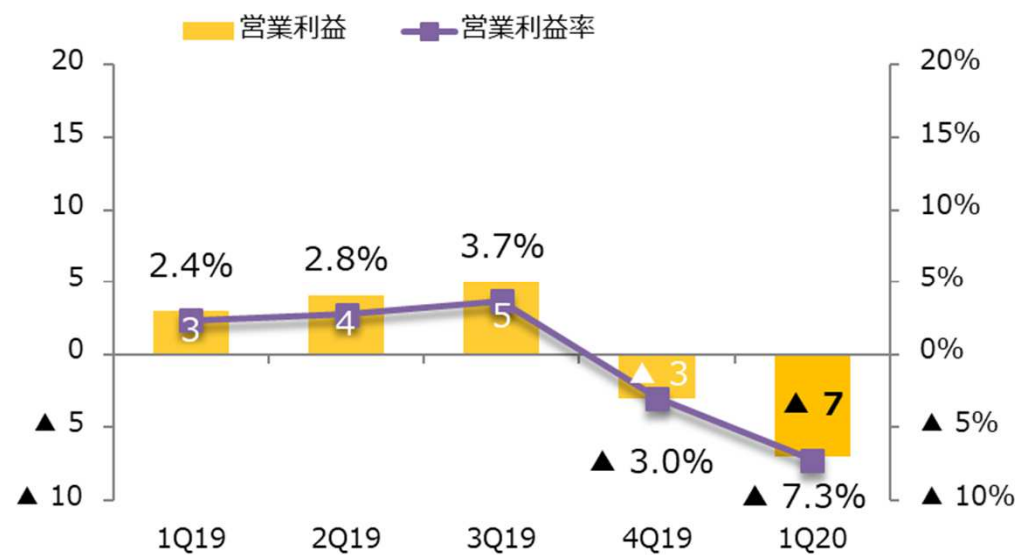
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



CITIZEN